

ICDAホールディングス株式会社

International **C**onglomerate of **D**istribution for **A**utomobile



2015年3月期 決算説明会

2015年6月1日

～バリューチェーンビジネスの強化で成長を目指す～



2015年3月期決算概要

- 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益が減収減益に
- 消費税増税後の需要反動減と中古車市場の価格低迷により⇒販売台数減少
 - 新車販売台数 5,640台(前年比 13.5%減)
 - 中古車販売台数 9,422台(前年比 7.5%減)
- 三菱マテリアル(株)との業務提携によるレアアース磁石の回収事業が本格稼働

2016年3月期計画

- 新型車投入
 - 新車販売台数 5,778台(前年比2.4%増)
 - 中古車販売台数 9,798台(前年比4.0%増)
- 自動車リサイクル生産台数 8,000台(前年比5.3%増)
- 連結売上高242億77百万円(前年同期245億22百万円)
- 経常利益7億60百万円(前年比42.2%増)



ICDAホールディングス

自動車販売関連事業

(株)ホンダ四輪販売三重北

- 新車販売(ホンダ正規ディーラー)
- 中古車販売・買取(全メーカー)



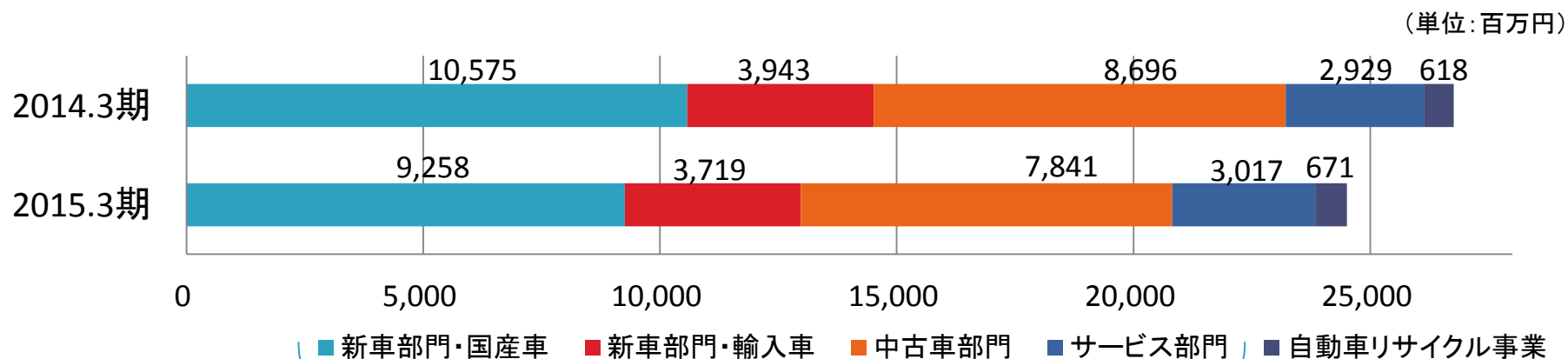
(株)オートモール

- 新車販売
ポルシェ(正規ディーラー)
Audi(正規ディーラー)
VW(正規ディーラー)
- 中古車販売・買取(全メーカー)

自動車リサイクル事業

(株)マーク・コーポレーション

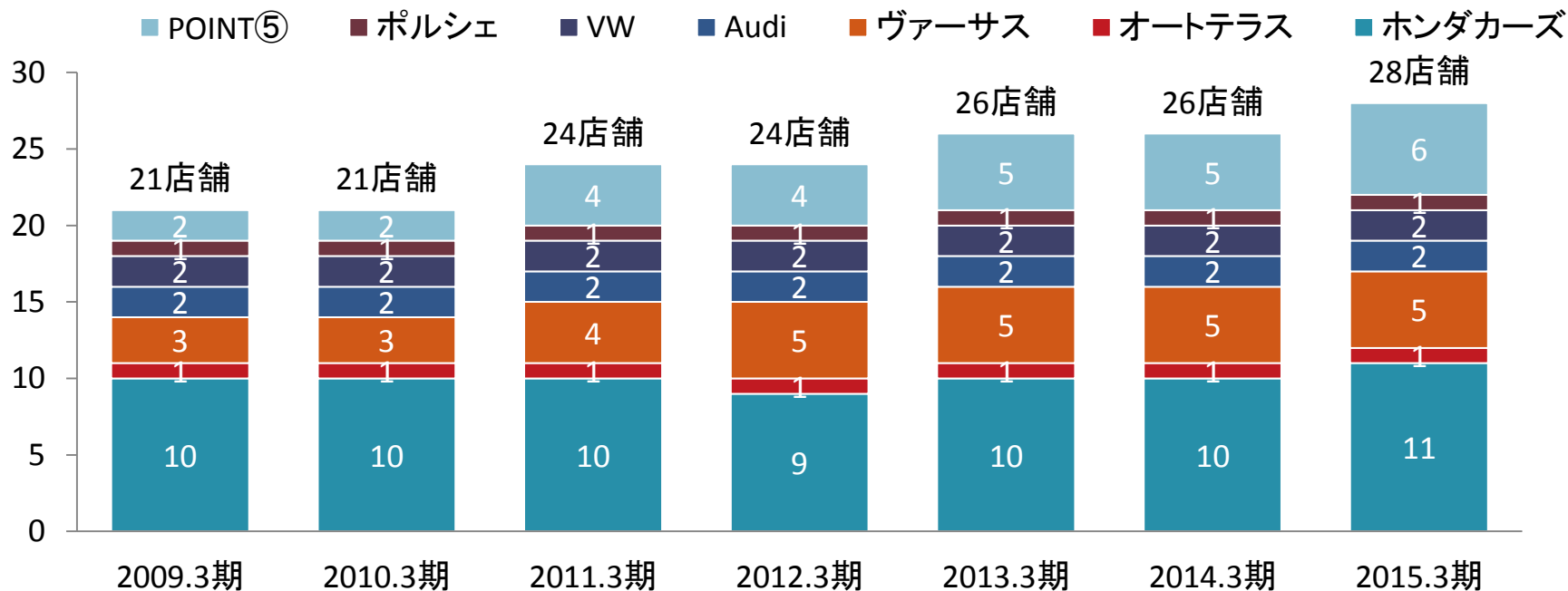
- 鈴鹿オートリサイクルセンター



自動車販売関連事業

ホンダカーズスモールストア四日市松本店・POINT⑤四日市松本店
(ホンダ新車・中古車販売 & 買取を併設したミニオートモールを平成
26年4月18日にオープン)

アウディ三重四日市
(三重県最大級のアウディショールームを平成26年6月7日に改
装オープン)



【長期的な営業環境】

- 自動車の保有台数のゆるやかな減少
- 自動車の乗替えサイクルの長期化
- 新車需要については、ダウンサイジング傾向⇒軽高登低（軽自動車の躍進）
- 環境対応車の発表により、燃費競争が加速

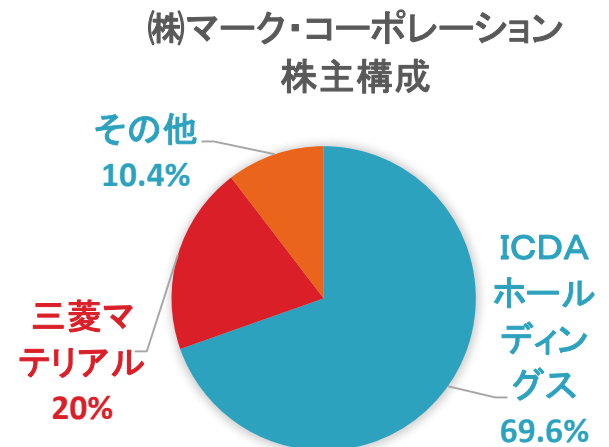
【2015年3月期の営業環境】

■自動車販売関連事業

- ・消費税増税後の、需要反動減と物価上昇に伴う実質所得低下による買い控え
- ・中古車におけるオークション市場の価格低迷

■自動車リサイクル事業

- ・主要仕入先からの下取及び買取の中古車が減少
- ・2014年6月に、株式会社マーク・コーポレーションが三菱マテリアル株式会社へ第三者割当増資を行い関係を強化



損益計算書

(単位:百万円)

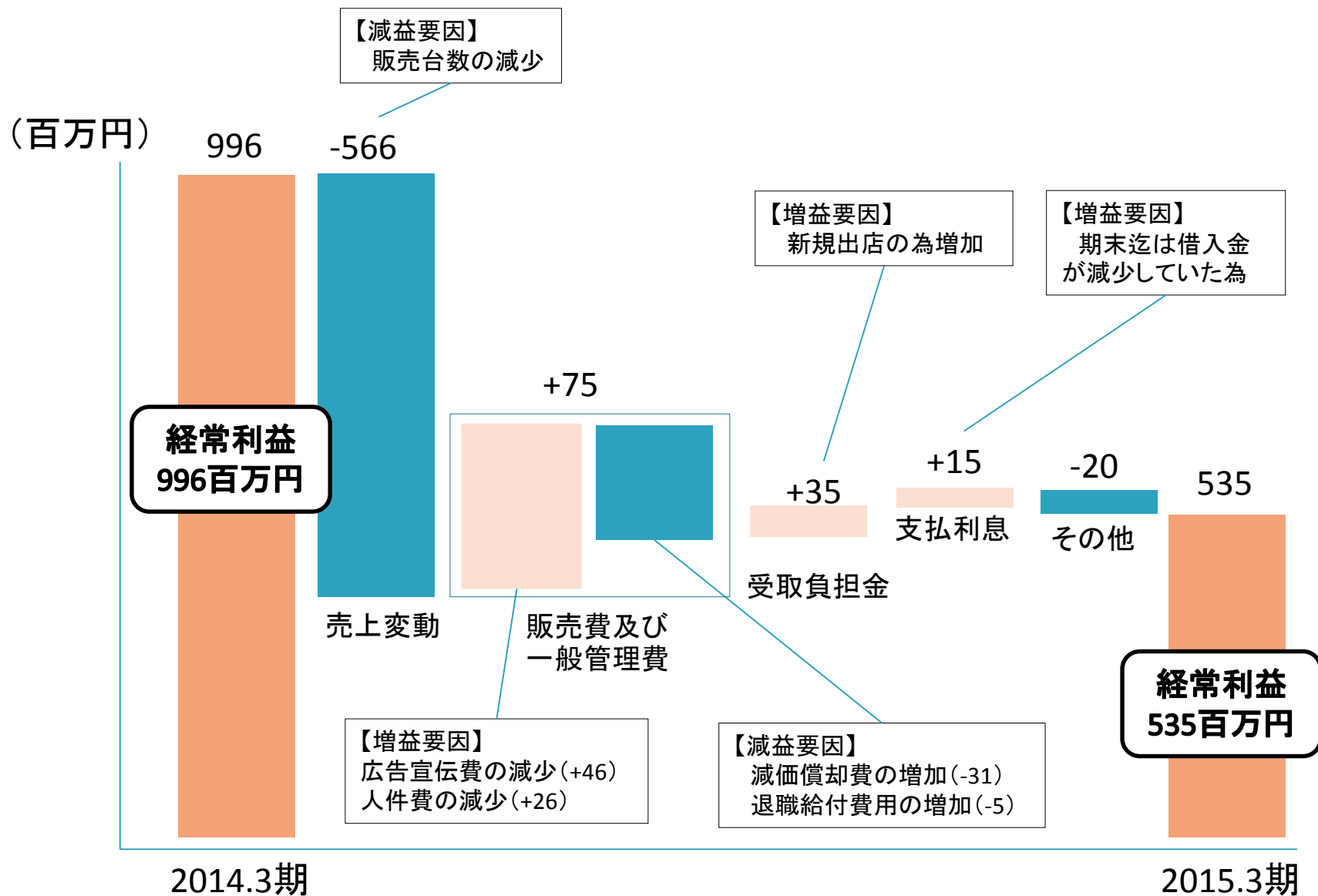
	2014.3期	2015.3期	前期比	2015.3期計画	前期比
売上高	26,780	24,522	91.6	25,016	93.4
売上原価	21,774	20,081	92.2	20,462	94.0
売上総利益	5,006	4,440	88.7	4,554	91.0
販売管理費	3,948	3,873	98.1	3,865	97.9
営業利益	1,058	566	53.5	688	65.0
営業外損益	△61	△31	—	△39	—
経常利益	996	535	53.7	649	65.2
純利益	555	288	51.9	406	73.2

セグメント構成

(単位:百万円)

		2014.3期	2015.3期	前期比	構成比
自動車販売関連事業	新車部門(国産車)	10,575	9,258	87.5	37.8
	新車部門(輸入車)	3,943	3,719	94.3	15.2
	中古車部門	8,696	7,841	90.2	32.0
	サービス部門	2,929	3,017	103.0	123.0
	合 計	26,162	23,850	91.2	97.3
自動車リサイクル事業		618	671	108.6	2.7
合 計		26,780	24,522	91.6	100.0

利益増減要因分析



貸借対照表

(単位:百万円)

項 目			2014.3期	2015.3期	増減
資産の部	流動資産	現金及び預金	1,364	1,507	+143
		受取手形及び売掛金	355	315	-40
		商品及び製品	2,477	2,412	-65
		その他	334	294	-40
		流動資産合計	4,530	4,528	-2
	固定資産	有形固定資産	8,703	9,853	+1,15
		無形固定資産	70	67	-3
		投資その他資産	810	814	+4
		固定資産合計	9,584	10,735	+1,151
資産合計			14,115	15,263	+1,148

・新規出店及び土地購入により商品及び製品と、有形固定資産が増加し、短期借入金(在庫等)と長期借入金(設備等)が増加

項 目			2014.3期	2015.3期	増減
負債・純資産の部	流動負債	買掛金	1,977	1,999	+22
		短期借入金	2,500	3,250	+750
		前受金	687	680	-7
		その他	1,798	1665	-133
		流動負債合計	6,962	7,594	+632
	固定負債	長期借入金	2,624	2,780	+156
		役員退職慰労引当金	241	258	+17
		その他	520	580	+60
		固定負債合計	3,387	3,618	+231
	負 債 合 計		10,349	11,213	+864
	純資産	資本金	1,161	1,161	0
		資本剰余金	1,148	1,148	0
		利益剰余金	1,406	1,572	+166
		株主資本合計	3,716	3,882	+166
		その他の包括利益累計額合計	13	43	+30
		少数株主持分	35	124	+89
	純 資 産 合 計		3,765	4,050	+285
負債純資産合計		14,115	15,263	+1,148	

2016年3月期計画



セグメント			2016年3月期の営業環境
自動車 販売関連事業	新車部門	国産車	ホンダから新機種・モデルチェンジ車が投入
		輸入車	アウディ・VWからモデルチェンジ車が投入
	中古車部門		地域競合店との差別化促進
	サービス部門		車検・法定(12か月)点検等の入庫促進
自動車 リサイクル事業			三菱マテリアルとの関係が強化 レアアース磁石回収システムが本格稼働

2015年5月発売



2015年4月発売



HONDA

2015年4月発売



SHUTTLE

S660

STEPWGN

2015年7月発売予定



VOLKSWAGEN PASSAT



Audi

2015年8月末頃発売予定



Audi TT

損益計算書

単位:百万円

	2015.3期実績	2016.3期計画	前期比
売上高	24,522	24,277	99.0
売上原価	20,081	19,691	98.1
売上総利益	4,440	4,585	103.3
販売管理費	3,873	3,762	97.1
営業利益	566	823	145.4
営業外損益	△31	△62	—
経常利益	535	760	142.1
純利益	288	496	172.2

セグメント構成

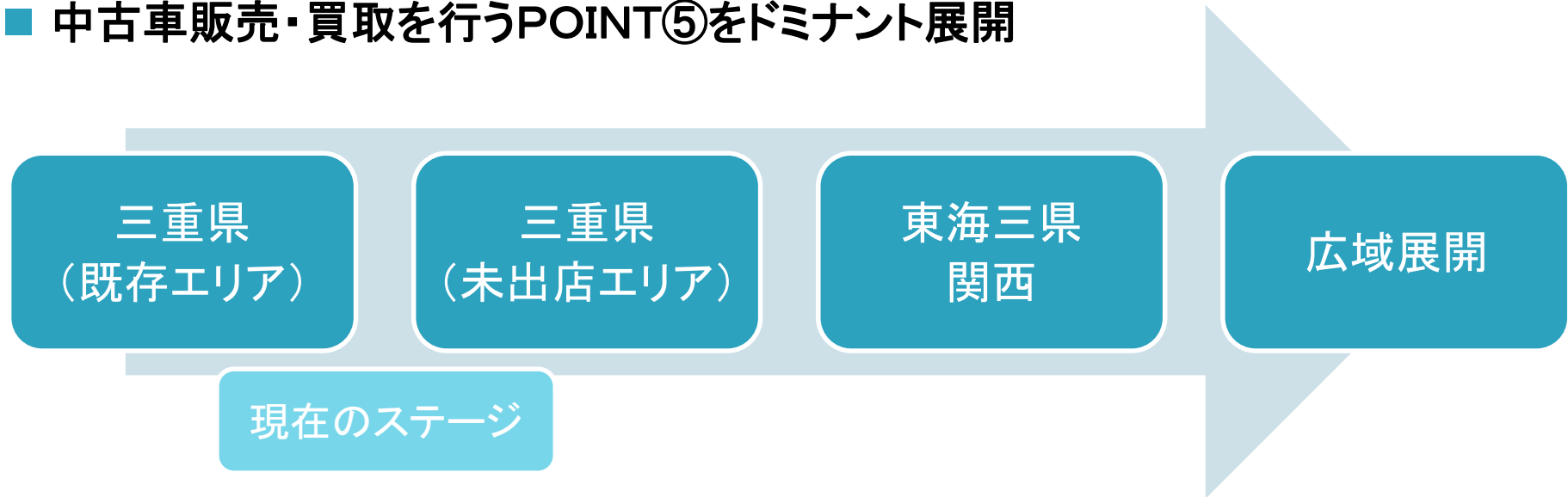
単位:百万円

		2015.3期実績	2016.3期計画	前期比	構成比
自動車販売関連事業	新車部門(国産車)	9,258	9,433	101.9	38.9
	新車部門(輸入車)	3,719	3,701	99.5	15.2
	中古車部門	7,841	7,579	96.7	31.2
	サービス部門	3,017	2,834	93.9	11.7
	合 計	23,850	23,560	98.8	97.0
自動車リサイクル事業		671	717	106.9	3.0
合 計		24,522	24,277	99.0	100.0

セグメント			施策
自動車販売 関連事業	新車部門	国産車	DM・チラシ、残価設定クレジットによる新機種・新車の提案強化 ホンダのフルラインナップナップ車を活かした販売強化 （軽自動車・コンパクト・ミニバン・SUV・ハイブリッドなど） 顧客情報（既存客の他店購入車）を活用した営業戦略の強化
		輸入車	ブランドディーラーに相応しいショールーム創り 認定中古車販売強化による販路拡大と収益向上 保険事業及び各種手数料や付帯商品販売による収益強化
	中古車部門		チラシ・ネットによる新規来店誘引 既存ユーザーに対する販売構成・提案強化 オークション仕入を下げ、下取・買取を強化（仕入コスト削減）
	サービス部門		車検・法定（12か月）点検等の平準化させた入庫促進 メンテナンスパックの販売強化 アフターマーケット（リユースパーツ含む）への取組強化
	自動車リサイクル事業		

今後の戦略

- 出店余地がある三重県での複合型店舗の推進
- 三重県内での販売シェアを10%へ
- 中期的にはM&Aを踏まえ出店エリアを東海三県・関西の近隣地区へ拡大
- 中古車販売・買取を行うPOINT⑤をドミナント展開



出店エリア選定基準

人口3万人以上の都市

交通インフラが未整備な地域

1世帯あたり自動車所有台数
1.0台以上

- 2015年3月に、三重県亀山市に新店舗用地を取得
- 約11,000坪の広大な敷地に、新しいモール形式のライフ・ミックス・オートモール(自動車販売&集客の街)を構想中
- 自動車販売だけでなく、スーパー等のテナントを誘致する複合施設として今後開発予定

- 八野モータープール(三重県鈴鹿市)が平成26年3月に完成
- 自動車業界において問題となっている路上積み下ろしを解消

【今後の活用方法】

PBカー(自主企画カスタマイズカー)製作工場
グループ新車・中古車デポックスセンター



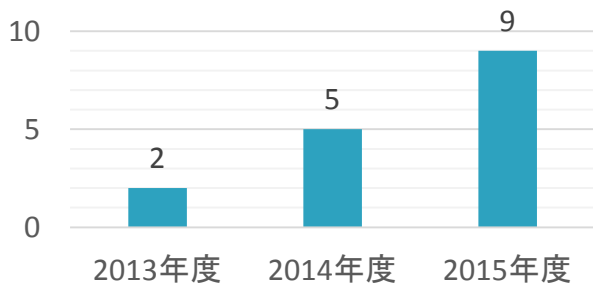
約20,000坪の敷地面積

- 全国的に珍しい、自動車営業・自動車整備士・サービスフロントに女子力を活用
- 女性目線を活かした商談・接客、自動車整備の効率化



今期、女子サービスフロント登用拠点は9店舗を予定。

■ 女子サービスフロントの推移(人)



掲載日 中日新聞朝刊 平成26年(2014年)7月2日11ページ
中日新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。

【基本方針】

将来の事業展開と経営体質の強化をしつつ、
連結当期純利益の20%程度を目安に安定配当を継続

2016年3月期 配当金予想

	配当性向	1株当たり配当金
2014.3期	84.6% (連結当期純利益の18.3%)	50円
2015.3期	86.5% (連結当期純利益の36.4%)	50円
2016.3期(予想)	61.2% (連結当期純利益の21.2%)	50円

※ 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、期末配当金額を変更することがあります。



昨年の株主総会後に鈴鹿サーキット国際レーシングコース(5.8km)にて実施。

この度、当社の株主様を対象に、鈴鹿サーキット国際レーシングコース(5.8Km)を使用いたしまして、先導車兩付きマイカーランを企画致しました。
当社グループ取扱車種もご用意しておりますので、ご試乗頂くことも可能となっております。
数々の名勝負の舞台となった鈴鹿サーキット国際レーシングコースを自らのドライビングでアタックしてみませんか。
是非、この機会に、ふるってご参加ください。

【参加資格】 普通自動車免許をお持ちの当社株主様

【参加車両】 一般公道の走行可能な4輪車両

【日程】 2014年6月25日(水) 13:30～(受付13:00～)

【集合場所】 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース センターハウス

【会費】 無料

【スケジュール】

受付時間 13:00 センターハウス2F

フリーフィング 13:30 センターハウス2F/走行に関する事前説明会

走行時間 14:00～

【申込方法】

本用紙の裏面に記載の注意事項、誓約事項をご確認頂き、必要事項をご記入の上、下記お申込先までFAXにてお申込み下さいませ。ご記入頂いたご連絡先電話番号に当社よりご連絡致します。

【お申し込み先】: ICDAホールディングス株式会社 総務課 FAX/059-384-2881

【お申込期限】 2014年6月23日(月) 18:00 まで

【問い合わせ】

申込に関するお問い合わせ先

ICDAホールディングス株式会社 総務課 TEL:059-381-5540

抽選で
40
名様に



参 考 資 料



社名

ICDAホールディングス株式会社
 (International Conglomerate of Distribution for Automobile)

設立

2009年10月1日

本社

三重県鈴鹿市飯野寺家町234番地の1

代表者

代表取締役社長 向井弘光

資本金

1,161百万円

発行済株式総数

2,099,936株(自己株式64株を除く)

事業内容

自動車販売関連事業
 自動車リサイクル事業

売上高

24,522百万円(連結)
 (2015年3月期)

経常利益

535百万円(連結)
 (2015年3月期)

従業員数

358名(連結)
 (2015年3月期)

※資本金・売上高・経常利益は2015年3月期の数字です。
 従業員数は2015年3月末の数字です。



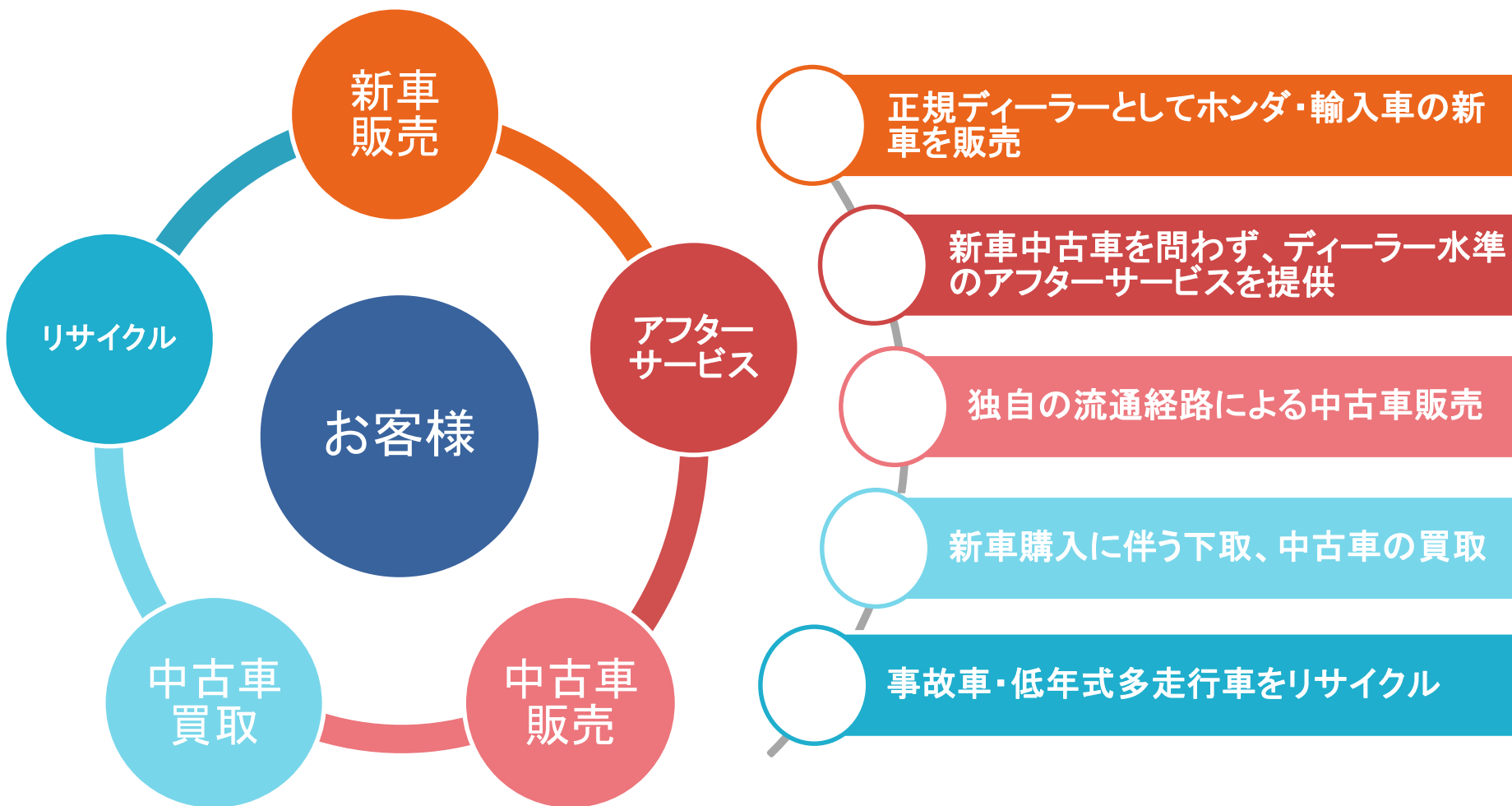


■ 様々な価格帯の自動車に対応することで、幅広い顧客層を獲得

★ はオリジナルブランド

店舗ブランド	業態	購入層とブランドの特徴	価格帯
ポルシェ	正規ディーラー	富裕層・本格派 車大好き・複数保有	高
Audi	正規ディーラー	知性派 医師・学者等	
Volkswagen	正規ディーラー	ブランド志向の女性が多い	
ホンダカーズ	正規ディーラー	ブランド志向が多い広領域ユーザー	
★ ヴァーサス	中古車業態	全メーカー取り扱い	中
オートテラス	中古車業態	ホンダ車専門	
★ POINT⑤	中古車業態	全メーカー取り扱い 買取強化店・販売は低年式多走行車が中心	
			低

■ 自社グループにおいて、一連の業務を行うことでお客様への提案内容が拡大





- 自社グループにて中古車買取・販売、リサイクルを一貫して手がけることにより1台の自動車流通する際の収益機会が増加

ICDAのバリューチェーンクロス・ミックスビジネス



新車ディーラーにおける一般的なバリューチェーンビジネス



■ 車の種類・状態等に合わせて、グループ内で効率よく流通

POINT⑤とMARCがあるから
どんな車も買取や下取りが可能



中古車の確保・販売に有利！



ホンダ車なら



ホンダ車以外は



低年式・多走行車は



事故車・スクラップは





- 品質の高いリユースパーツを提案
- 低コストでの修理が可能となり、顧客満足度が向上





①車両引取り

- 輸送会社と提携
- 早期の集荷作業



②車両保管ヤード

- 800台の平置きが可能な敷地
- 重ね置きしない丁寧な保管



③前処理棟

- リサイクル法を遵守した作業
- フロンガス回収・エアバック車上破壊



④液抜き棟

- 燃料・オイル類・ラジエター液の回収



⑤⑥反転機

- エンジン・足廻り部品の取り外し



⑦ライン作業場

- 1台の車両に対し2名で作業
- 丁寧な「手バラシ」解体



⑧EPリフト作業場

- 中古部品生産の専用リフト
- 質の高い商品を生産



⑨300トンのプレス

- スクラップボディのプレス
- 70cm × 70cm × 70cmの形にプレス



⑩プレス出荷

- 鉄鋼メーカーに出荷



国内行き中古部品

- 1万点の在庫保管スペース
- バーコード管理された在庫

- 1 車両引取り
- 2 車両保管ヤード
- 3 前処理棟
- 4 液抜き棟
- 5 反転機1
- 6 反転機2
- 7 ライン作業場
- 8 EPリフト作業場
- 9 中古部品輸出
- 10 300Tプレス
- 11 ショールーム





■「独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構」(NEDO助成事業)



株式会社マーク・コーポレーションは、2012年から三菱マテリアル株式会社と株式会社ホンダレーディングの3社で協力し、「独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構」(以下、「NEDO」といいます。)の助成事業において「使用済み自動車からの希少金属回収技術開発」と称し、使用済みモータからの高性能レアアース磁石リサイクル技術開発に取り組みました。

NEDOの助成事業は2014年4月に株式会社マーク・コーポレーションへ承継され、引き続きレアアース磁石の回収システムの技術開発を行っていくこととなりました。

独自の店舗アンケート

店舗に対する顧客の声の吸上げ

年間約18,000件のアンケートを実施



顧客の期待に応える魅力ある売り場へ

顧客の要望・期待に応える店舗

不備等の不満・意見を吸上げ店舗改善へ



具体的な事例

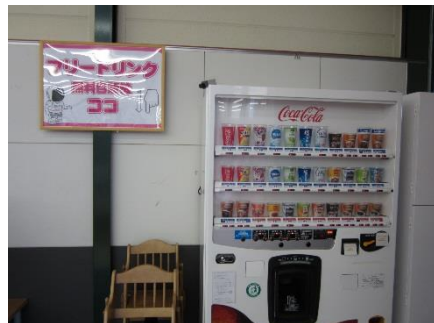
キッズコーナーの充実



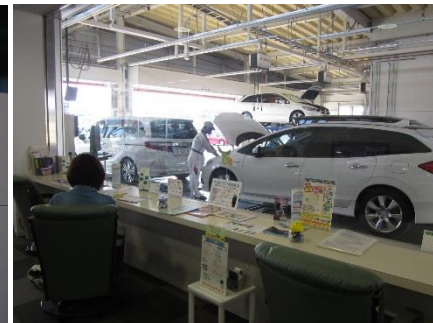
マッサージチェアの導入



フリースドリンクコーナー



サービス工場の見える化





本資料には将来の見通しについての記載が含まれていますが、これらは発表時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、経済情勢や市場動向等の変化により予想と大きく異なることがあります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

今後、新しい情報が入った場合においても、当社は本資料に含まれる見通しに関する情報の修正や更新を行う義務を負うものではありません。

本資料及び当社IRに対するお問い合わせ先
ICDAホールディングス株式会社 管理部総務課
TEL: (059)－381－5540